

「クラレPSAシステム」のさらなる深化

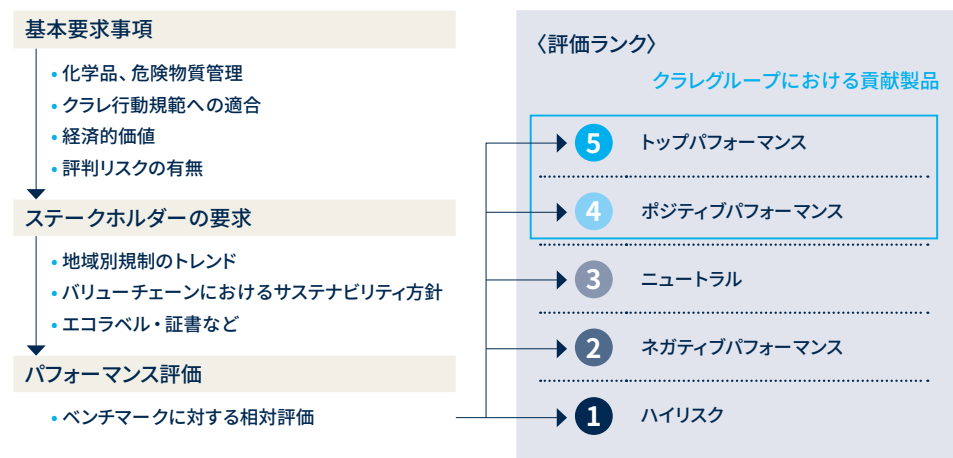
マテリアリティを起点に、 自然環境・生活環境貢献製品の拡大を図る

クラレグループは右図の手順に従い、自社に関わる重要課題をマテリアリティとして特定しています。マテリアリティに示される「自然環境の向上」と「生活環境の向上」に貢献する製品や技術を起点に、持続可能な製品ポートフォリオを目指すため、WBCSD※が定めた客観性・透明性が高く一貫性のある評価手法であるPSAに準拠した「クラレPSAシステム」を構築しました。

製品・用途・取り扱い地域の組み合わせを一つの評価単位とし、基本的事項・社会や規制の動向・ベンチマーク製品との自然環境・生活環境貢献度の比較などの項目を5段階評価し、上位2ランクの製品を「自然環境・生活環境貢献製品」としました。これらの売上高比率をベンチマークである2020年の46%から、2026年には60%へと高めていきます。さらに、今後は「クラレPSAシステム」と事業収益とのリンクを図ることで、事業ポートフォリオをさらに高度化させていきます。

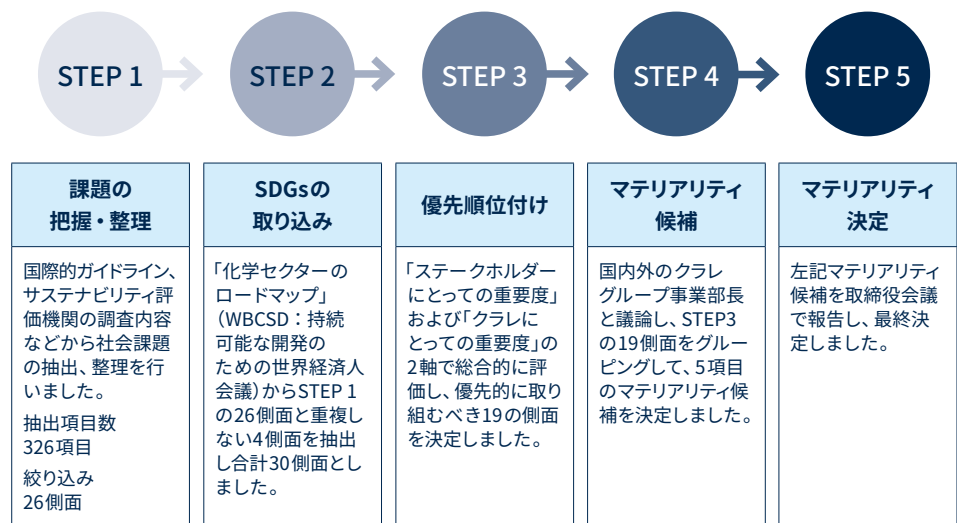
※ World Business Council for Sustainable Developmentの略。持続可能な開発のための世界経済人会議

「クラレPSAシステム」による貢献度評価方法



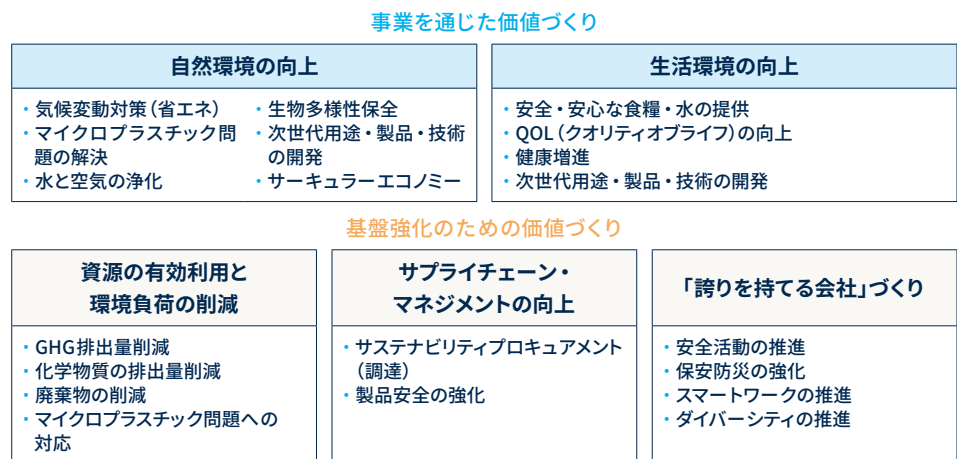
➤ P.33

マテリアリティ特定手順



📌 マテリアリティ特定手順

クラレグループのマテリアリティ



📌 マテリアリティ